

四 一三

譯受
始信 〇〇九四二七

譯了 〇九五〇 雷 〇七二二二 作概 〇



佐領區設情着信艦所

石垣島

高 警

總密第一三〇八三五番電

西方遠距離ニ於テ砲聲聞ユ三〇分間 〇八〇八。

通八八一 才一五(九八三〇KG)佐二放 望月(木) 下

四 一三 語受一〇三七

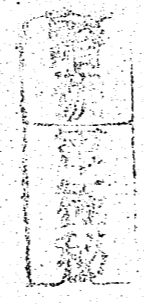
電〇七二四八 謀 通

緊 急

◎ 大和田通信隊司令

◎ 資料着信艦所。先遣部隊。各
艦五基地航空部隊。麻屋空基地

機密第一三〇八四六番電



測定艦艇十二日分

一、水上艦艇

(1) 沖繩島周邊延一一隻鸞鼻八〇。二九〇各一隻

(2) 沖繩島三一五。八五同一五五。二四〇サンペルナルチノ海峽北東海面

二、潜水艦

M D 八五。一四〇各一隻

御前崎一九六。四〇 八丈島二〇九。一〇五足摺崎二一五。六〇高雄三

浦八一九四 呂一B (電 話)

柳町(木 下)

四 一三

受信 〇〇九四八

譯了 一〇〇三 電 〇七二一三

航作 本概 〇

作戰緊急

第五基地航空部隊 △

第五基地航空部隊臺灣方面飛行配備基地

機密第一三〇九二〇番電



臺中零戰特攻隊本日、敵機動部隊兵力、可動全力トシ爆裝直掩、割合等
三對一トス、〇九二〇。

通八一八二 才一五(七一三四七五七)五(〇)日放 望月(木 下)

開始 一二三〇

至 急

● 第六航軍派遣通信隊

● 天一號作戰部隊

● 海軍省



機密第一三一〇二八番電

一 臺灣軍報

○七三〇ヨリ敵艦載機約七〇機基隆 臺北地區ニ來襲中

二 球情報 (十二月)

(イ) 十二月〇六〇〇 一八〇〇ノ間來襲機數延四〇〇機 漢川正面

掃海ヲ實施シアリ

(ハ) 敵上陸軍ハ逐次兵力ヲ増強攻撃ヲ續行シアルモ各所ニ之ヲ邀

撃滅ス主陣地ノ線ヲ確保シアリ。

通八二四四 呂一四七(八九三〇) 佐二放 山内(小野 田)

四 一三 受信 一三〇〇 譯了 一四三六 電 〇七三一三 作 極 〇

緊 急

停

天一號作戰部隊

沖繩方面特根

機密第一三一〇三一番電

(4) 一〇〇〇 視界內艦船狀況 (視界十五軒)

嘉手納沖 B 一〇一 (首甲方面射擊中) D 二 P 四 O W 一〇 那霸

沖巡洋艦五郎 逐艦二掃海艇一〇 慶良間 W 十四 糸滿沖巡洋艦一 D 二掃

海艇八

(口) 六 日 二 一 三 掃 T B F 一 一 二 機時 飛翔首甲方面銃爆

通 八 二 五 二 天 二 B 六 六 (七八七五 KC) 一 K F G B 放 日野原 (猪 狩)

作戰緊急

作

第一機動基地航空部隊天作戰部隊作戰命令着信艦所

共 符

機密第一三一〇〇番電

天信電令作第一二三號

一〇四五ニ至ルモ敵ノ全貌ヲ確認シ得ズ本日ノ對機動部隊總攻撃ヲ
取止ム

三在國分制空戰團機隊全力及七二一部隊爆戰隊約半兵力一時間待機爾
餘ノ隊ハ當部隊信電令作第三三號ニ依リ攻撃ヲ續行スルシ

通八二四二 月一廿七ハ七八七五起一五〇〇放

日野原(機符)

開始一二二五 通一二三五 機〇七二七 航作本〇

四 一三 開始一六四〇〇 丁一八〇〇 〇〇七九〇〇九

緊急

● 新竹航空基地



- 小岡山司令部
- 一二聯合航空

機密第一三一五九番 二分ノ六二

臺灣海軍戰團 四月十二日一十三日

一、月光三機一八〇〇發道一機二一三五嘉手納機二ヶ所約五分間炎上
 スルヲ認ム 一機宮古中機〇四三〇頃沖繩嘉手納飛行場南側燃焼
 果不明一機動機不明ノ爲宮古不時着攻撃實施セマ

三、視認セル機情
 (一)嘉手納中機約四〇隻
 (二)中機約四〇隻
 (三)線附近及北方古仁屋ヨリ入場ニ迫マル機ニ多数ノ火ヲ認
 (四)東運誌 本機観守極メテ多シ
 道八二八四・八三二四 呂一Bケ七(一一三四七五KG)五FGB放 水谷・藤井(機)

一三 受信 一四二六 丁一三二〇 電〇七三二五 作 〇

緊急

● 鹿屋 航空 基地



- 第一機動基地航空部隊天島作戰部隊作戰命令着信處所
- 六航軍派遣通信隊。

機密第一三一三二二番電

發 一五FGB 參謀長

菊水三總作戰、十五日以降決行ノ豫定。

通八三〇〇 呂一B七(九八三〇) 在二放 山内(兩 谷)

四 一三 受信 一六三二 譯丁 一八一五 電 〇七四四五 作 概 〇

緊 急



天一號作戰部隊

沖 繩 根

機密第一三一三四九番電 二分ノ二二

U-1300 視界 〇 運敵艦船狀況 嘉手能納沖 五 三〇七六七

病院船二小型舟艇多數 那覇沖 三 糸滿沖小型舟艇九

敵へ神山島砲台 一乃至二 六 二〇 以テ第一線ト首里ト

中間 攻撃 集中 シオレ

目一二五〇 双發 機北飛行場 あり其ノ他視界不良ノ爲中飛行場使

用狀況明カナラズ

通 八三三四 天二 〇ケ六 九八三〇 (佐三放 與山 雨谷)

緊急

作

受信開始 〇二〇三五

終了 〇〇三五

至 〇〇七七五五八

作 概

機動基地航空隊 天駒作戦部隊 偵察情報所

機動基地航空隊	天駒作戦部隊	偵察情報所
機長	副機長	機長
一三	一三	一三
五五	五五	五五
六番	六番	六番
八分	八分	八分
二三四五六七八		

一 K F G B 天菊水二號作戦概報 (四月十三日二號)

〇六〇〇

一 菊水二號作戦實施前日 (四月十一日) 敵情ハ當部隊戰闘概報所報ノ

通ニシテ海峽ニ至ル迄敵ノ全貌ヲ偵知シ得ズ (概テ三群ト判斷ス) 十

一日夜間ヨリ十二日黎明ニ亘リ夜間哨戒實施セルモ依然トシテ敵情ヲ

把握シ得ズ

三 黎明迄ニ陸上攻撃機九機ヲ以テ中城河内及灣口附近ニ偵察設置ス

通 八八五二八
八五五二八
八五五二八
八五五二八
八五五二八
八五五二八
八五五二八
八五五二八
八五五二八
八五五二八

一三 七七八七五

大石 岩田
岩佐 川本
長谷 川

司令部、支那、支隊、約、の、機、を、攻、撃、す、る、に、つ、き、
 要、攻、進、を、命、じ、ら、れ、た、機、の、一、部、は、
 機、隊、の、攻、撃、を、特、偵、偵、察、す、る、に、
 機、隊、の、特、偵、偵、察、す、る、に、

1690

五機任務終了一時後進、見合セリ、(四機)一機は夜戦隊九機、以テ北、
 中飛行場附近之ヲ制壓二機二三四五、戦果不詳、
 三十二日早朝彩雲一機主トシテ列島線、沿リ索敵〇八三〇頃、
 方約六〇哩附近、空母ヲ含ム機動部隊(航空母艦數不確認)ヲ發見、
 後方觸接持續、努力シテ偵察機發動機不調ノ爲、已ムナク引返シ、
 四制空隊ハ既定計畫通り一波一五機(在都城陣軍戰團機)二波三波四波
 夫々約二四機〇七〇〇、一一〇〇、一一三〇、一二〇〇發進、
 沖繩泊地附近一帶敵戰團機ト空戰概ホ制空ノ目的ヲ達シ、
 奄美大島喜界島附近ハ制空隊索敵三四機ハ一一〇〇ヨリ一四〇〇頃迄
 制空ニ任ズ一三〇〇頃喜界上空附近ニ於テ敵戰團機約七〇機以上ト空
 戦ニ〇機以上ハ撃破、確實未歸還約一二機、
 五一〇A F特攻隊ヲ主カトスル沖繩周邊敵部隊攻、
 ハ一〇〇〇ヨリ一二三〇ノ間ニ、
 攻、撃、す、る、に、

0592

別ニ陸軍特攻隊約六〇機沖繩周邊敵艦船攻撃ニ策應セリ、
 艦船攻撃隊ハ大半電信機ヲ有セザリシ、
 成功セルモノト認ム就中櫻花攻撃隊中櫻花機發進ヲ報シタルモノ六機、
 内戰艦一機沈概ホ確實他ハ戰艦ニ命中ヲ報シタルモノ一ニシテ其ノ他
 大牛成功セルモノト認ム、
 ヨリ一六〇〇頃迄ノ間ニ突入ヲ報セリ、
 六、一六〇〇頃彩雲偵察機搭乗員斷着後地上報告(送信機故障)ニ依リ初
 敵ノ全貌ヲ明ニス即チ一三三〇頃敵空母群ハ沖繩北端東方六〇乃
 至八〇哩附近ニ三群(正規六特設空母二計八)アリシヲ以テ直ニ夜間
 攻撃隊ノ全力ヲ以テ之ニ攻撃ヲ指向スルト兵ニ夜間哨戒ヲ實施ス
 夜間攻撃隊(重爆銀河約三〇機)ハ敵機動部隊捕捉ニ成功、
 一四四五頃ニ之ヲ攻、
 不詳一機沈、艦種不詳一其ノ他不詳(二四〇〇頃夜間哨戒ハ右攻
 地艦艦種不詳五隻炎上中ノ確認)

七 沖繩周邊部隊薄暮攻撃陸攻一四機概木一九一五ヨリ一九四〇迄攻撃
確認セル戦果 巡洋艦二隻轟沈、戦艦一隻炎上、戦艦一隻、魚雷命中
其ノ他不詳
八 未歸還機目下調査中。

一三
始一七二五
了二八〇五
電〇七四三六
作概〇

緊急

沖 綱 根 P



天一號作戰部隊

機密第一三一六〇〇番電

一六〇〇視界内敵情

嘉手納沖戦艦二重巡三驅逐艦一輸送船六二舟艇七那覇沖戦艦三重巡二輕巡
四驅逐艦七舟艇三〇糸滿沖南下中戦艦一神山島砲臺戦爆十數機常時首里周
邊ニ攻撃シアリ。

通八三八三 天二日ヶ六(七四六〇K) 沖根 菅原(木 下)